

デジタルデータの管理・共有・活用をトータルにカバー。  
SyncaDrive(シンカドライブ)は、画像やデータの保存～管理～活用までをオンラインで実現する、  
プロのためのビジネスソリューションサービス。  
デジタルデータに関するさまざまな課題を一気に解決します。

○用途に合わせて選べる、3つのパッケージプラン○



大量のデータをストックし、カンタンに配信したい！〈保存タイプ〉  
社内スタッフ間や主要関係者間で、データを共有したい！〈共有タイプ〉  
多数の関係者への頻繁なデータ配信、効率的なデータ管理に役立てたい！〈流用・展開タイプ〉



大量のデータや画像を便利に保存できる、オンラインストレージ(倉庫)として活用できるプランです。



各種データを一部の社内スタッフや、あるいは関係者(支社・部門・取引先など)の間で共有するための、オンラインデータベースとして活用できるプランです。

## **流用・展開タイプ**

日々増大する多量なデータを持ち、広告・宣伝・調査などに活発に利用しなければならない状況下で、海外支店・印刷会社・広告代理店などに向けた効率的なデータ発信を行うためのデータマスターとして活用できるプランです。

パッケージタイプ	対象	機能											
		共通 7 機能							個別 5 機能				
		ユーザーID	専用ログイン画面	ログイン	アップロード	ダウンロード	データプレビュー	検索	データベース	トリガー&アクション	データ取得申請承認	サブアドミニストレーター	インタラクティブPDF
<b>保存タイプ</b> 	スタジオ、カメラマン 出版、制作	全パッケージ共通機能							◎	◎	◎	—	—
<b>共有タイプ</b> 	出版、代理店 印刷、制作								◎	◎	—	—	◎
<b>流用・展開タイプ</b> 	一般企業								◎	◎	◎	◎	◎

## 1. ユーザーID

お客様専用のID とパスワードを入力し、ログインします。

ユーザーIDは、サイト毎に割り当てられた英大文字3文字+\_ (アンダーバー) 個別文字列となり、パスワードは英数字3文字以上8文字以内となります。

## 2. 専用ログイン画面

お客様ごとに専用URL を割り当て、個別のログイン画面をご用意しました。

お客様ごとの専用URLは<https://www.syncadrive.net/xxxxx> (xxxxx はお客様ごとに変更) となります。また、SSL 機能により、安全なサイトアクセスを実現しています。

## 3. ログイン機能

ユーザーID ごとに以下の権限を設定できます。

- ◆SyncaDrive 内に設定されたフォルダーへのアクセス権
- ◆アクセスを許可されたフォルダーへの利用権限(閲覧・DL 許可・UL 許可・バスケット許可・画像変換許可・書誌情報更新・ファイル操作・書誌情報閲覧・履歴閲覧など)。
- ◆インターフェース上の表示言語選択(日、英、独、仏、伊、中、etc.)

## 4. ファイルアップロード

作成されたフォルダーへのアップロード権限を有するユーザーは、Web インターフェースよりファイルの登録が可能です。Web からは同時に4 ファイルまで登録できます。

また、別途お渡しする専用ソフトウェア「UpLoader」による一括登録にも対応しています。

「UpLoader」は、接続先URL情報、ID、パスワード等が記録されているため、ID ごとにお渡しいたします。これにより、他のユーザーからの不正な登録を防ぐ事が可能です。また、「UpLoader」には登録完了後の自動メール配信先アドレスやファイルに付与された書誌情報の同時登録機能などの設定も可能です。登録するファイル名、フォルダー名については一般的なインターネット上のルールに基づき「半角カタカナ」「半角スペース」「機種依存文字」は使用できません。これら特殊文字を使用した場合、「表示の文字化け」「プレビュー画像の生成エラー」「画像変換時のエラー」等が発生する場合がありますのでご注意ください。

## 5. ダウンロード

登録されたファイルをダウンロードする方法としては、ファイル毎に個別に行う方法とバスケットを使用した一括ダウンロードがあります。

個別ダウンロードには画像変換機能があり、画像サイズ、解像度、ファイル形式などの変換とトリミングが行えます。一括ダウンロードでは、トリミング以外の画像変換機能が利用できます。また、これらの機能も、ユーザーID毎にその利用を制限する事ができます。

※その他、バスケットの使用方法も含めて、詳細は別途SyncaDrive 操作説明を参照ください。

## 6. データプレビュー

登録されたファイルは、SyncaDrive 内で自動的にプレビュー画像が生成され、Web ブラウザ上に表示されます。データプレビューが可能なファイル形式は、JPEG、PNGなど、一般的にブラウザで表示可能な画像ファイルだけでなく、それまで専用アプリケーションが必要であった、デジタルカメラのLAWデータ、印刷物作成に使用されるレイアウトデータやオフィス系データ、WMVやFLVなど動画ファイルのプレビューも生成されます。これによりユーザーはファイル名だけでなく実際の内容を確認しながら、ファイルをダウンロードする事が可能となります。ファイルのプレビューは基本的にリアルタイムで生成されますが、同時に登録されるデータ点数と総容量により、若干の時間が必要となる場合もあります。



InDesign プレビュー



QuarkXPress プレビュー



Illustrator プレビュー

※登録されるファイルのプレビュー自動生成についての注意事項。

(1)PDF:

サーバーにインストールされていないフォントを使用したPDF は、プレビューを生成する事ができません。PDF作成時にフォント情報の埋め込みをお願いいたします。また、パスワードが設定されたデータはプレビューを生成することができません。

(2)AI(Adobe イラストレーター):

ファイル作成時に「iPDF 互換ファイルを作成」にチェックを付けてください。

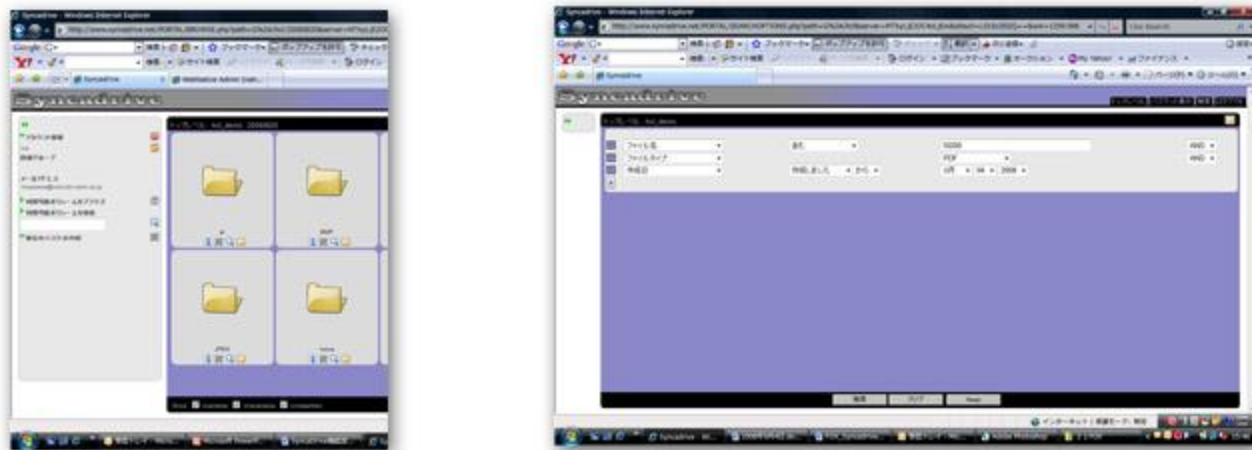
(3)MS オフィス系データ:

対応しているファイル形式はMS-Office2003 までとなります。(1)と同じ理由により、サーバーにインストールされていないフォントを使用したファイルはプレビューを生成することができません。また、パスワードが設定されたデータはプレビューを生成することができません。

(4)INDD、QXD(Adobe インデザイン、クォークエクスプレス): SyncaDrive でプレビュー表示をさせるためには、これらのファイルを作成するPC 内のアプリケーション用プラグインフォルダーに、専用プラグインをインストールしておく必要があります。専用プラグインはMac 用にINDD\_CS、CS2、CS3用。QXD\_4、6 用が用意されています。

## 7. 検索

標準機能ではファイル名、フォルダー名、作成日、ファイルタイプでの検索が可能です。それぞれの項目について、「AND」「OR」での複合検索機能があり、検索の対象は「すべて」もしくは「フォルダー単位」となります。ファイル名、フォルダー名については、「前方一致」か「部分一致」の検索。作成日については「On」「から」「前」と「作成」「更新」「アクセス」の組み合わせ検索。ファイルタイプは「JPEG」「TIFF」「EPS」「PDF」などから検索することができます。



検索インターフェース

※ オプションのデータベース機能を実装することで、ファイルの付帯情報(書誌情報:メタ情報)による検索が可能となります。

## 8. データベース

データベースに設定する項目数についての制限はありませんが、設定する項目の内容によってデータベースの設計を行う必要があります。データベースの設計に必要な項目は、

- 1)項目名称
  - 2)項目タイプ
- の2種類です。

項目名称は、実際に画面に表示される項目名となりますが、運用中の変更も可能です(製品名→商品名、販売価格→税込価格など)。

ただし、表示される項目名称は、ユーザーID 作成時に使用した「英大文字3文字」が必ず付与されます。項目タイプについては、構築後の変更ができません。また、設定するタイプによって検索に利用する機能が変わります。これらの要件により作成された複数の項目を使用し、公開するテンプレートを作成します。(例:営業用、管理部用、制作者用など)。

これらのテンプレートをユーザーID に割り当てることで、表示するデータベース項目の切り替えを実現します。

※販売価格や撮影日等の項目はテキスト情報として登録することも可能ですが、その場合は、範囲指定ができません。また日付情報として付与する場合は、「年月日」の情報が必須となります。

※SyncaDrive!には、データベース書誌情報の一括インポート、エクスポート機能があります。一括登録が必要な場合、弊社担当者へご相談ください。

## 9. トリガー& アクション

データベース機能に簡単なプログラムをSyncaDrive に設定することで、ワークフローの自動化を行います。トリガー(行為)により、アクション(動作)の設定を行う形で設定します。

この機能を使用可能なトリガーは次の2 種類です。

### ◆バリュートリガー

データベースの値の変化に応じて動作するアクションです。利用可能なデータベースキーワードのデータ形式は「真偽形式」「ポップアップ(テキスト)形式」となります。

### ◆日付トリガー

設定した日付に応じて動作するアクションです。「日付形式」のキーワードを使用します。

上記のトリガーにより発生するアクションは次の5 種類です。

#### 【COPY】

ファイルをコピーします。

#### 【E-mail】

E-mail を送信します。

#### 【Move】

ファイルを移動します。

#### 【Remove】

ファイルを削除します。

#### 【Transfer】

HTTP やFTP を使用しファイルを転送します。

例1: データベースに設計された「校了」チェックボックス(真偽)にチェックをすると、自動的に印刷会社用に作成されたフォルダーにファイルがコピーされる。

例2: 発表前の製品画像ファイルを事前に登録し、指定した日時に公開用フォルダーへ移動させる。

## 10. データ取得申請& 承認 (AFR:アセット・フルフィルメント・リクエスト)

通常、ファイルのダウンロードが許可されていないユーザーに対してWeb インターフェース上で取得の申請を行い、別途設定する管理者が承認したファイルのみがダウンロード可能となる機能です。ユーザーは、必要とするファイルをバスケットに集め、取得の申請を行います。

管理者はメールによる申請の依頼を確認し、インターフェース上で承認の作業を行います。

管理者の作業後、SyncaDrive から申請者へ自動的に承認のメールが配信されます

## 11. 期間制限公開 (AT:アセット・タイマー)

登録されたファイルにダウンロード期間制限を設定する機能です。管理者はそれぞれのファイルに「ダウンロード許可開始日」と「ダウンロード許可終了日」の設定を行います(どちらかの設定も可能です)。制限されたファイルはダウンロードが許可されたユーザーであっても、設定された期間外では取得不可となります。



## 12. サブアドミニストレーター機能 (GM:グループ・マネージャー)

ユーザー内に管理者を設定し、「ユーザー作成」、「アクセス制限設定」、「使用言語設定」、「データベース項目設定」「テンプレート設定」「アクセスログ閲覧」の各機能を公開する機能です。

当社が設定する「最大ユーザー数」、「最大キーワード数」、「最大テンプレート数」を超えて、これらを作成することはできません。SyncaDrive を利用するユーザーが日常的に更新される等の要因がある場合は便利な機能です。

## 13. インタラクティブPDF

SyncaDriveに登録された画像データを使用して作成されたレイアウトデータから、PDFファイルの生成を行い、画像データにリンク先URL を埋め込むことで、PDF 上から画像データの取得が可能となります。インタラクティブPDFは利便性の高い電子カタログとして提供することが可能です。



SyncaDriveへのリンク情報が埋め込まれたPDFデータ

## ファイルダウンロード画面が立ち上がる



## ご利用環境について

### 対応オペレーションシステム

- ・ Microsoft Windows2000以降(Vista対応済み)
- ・ MacOS 10.0以降(10.4対応済み)

### 対応Webブラウザ

- ・ InternetExplorer6.0以降
- ・ Safari1.2.4以降
- ・ Firefox1.0以降

## プラグイン

QuarkXPress、InDesignのプレビューをご利用いただくためには、プラグインが必要です。

MacOS版、Windows版のプラグインは、下記バージョンに対応しています。

### 【MacOS】

InDesign CS InDesign CS2 InDesign CS3 InDesign CS4 InDesign CS5 InDesign CS5.5 QuarkXPress6 QuarkXPress7 QuarkXPress8

### 【WindowsXP～7】

InDesign CS2 InDesign CS3 InDesign CS4 InDesign CS5 InDesign CS5.5

## SyncaDriveからの画像データダウンロード

### ◆ログイン

1. Webブラウザから御社専用URLにアクセスしてください。 URL:<http://www.syncadrive.net/xxxxx>(個別設定)



※左記ログイン画面はサンプルです。実際の運用時には変わる場合があります。



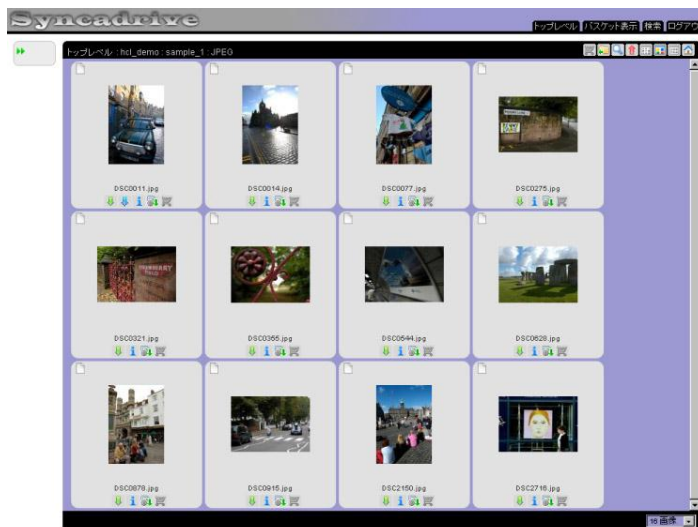
2. USER\_ID=英大文字3文字\_(xxxxxxx)とPASSWORD=(英数字3文字以上8文字以内)を入力し、ログインします。

※右記画面はサンプルです。ログイン後に表示される画像は、登録されているファイルとフォルダーの内容により変わります。



### ◆画像閲覧

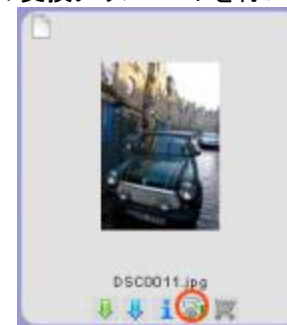
1.ログイン後、表示されているフォルダーをクリックするとフォルダー内を閲覧できます。画面にはサムネイル画像、ファイル名、各機能ボタンなどが表示されます。各機能ボタンについては、マウスカーソルを乗せた際に表示されるALT情報を参照してください。



1点毎に画像をダウンロードします。



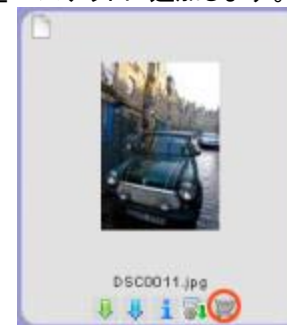
画像の変換ダウンロードを行います。



画像の詳細履歴を表示します。



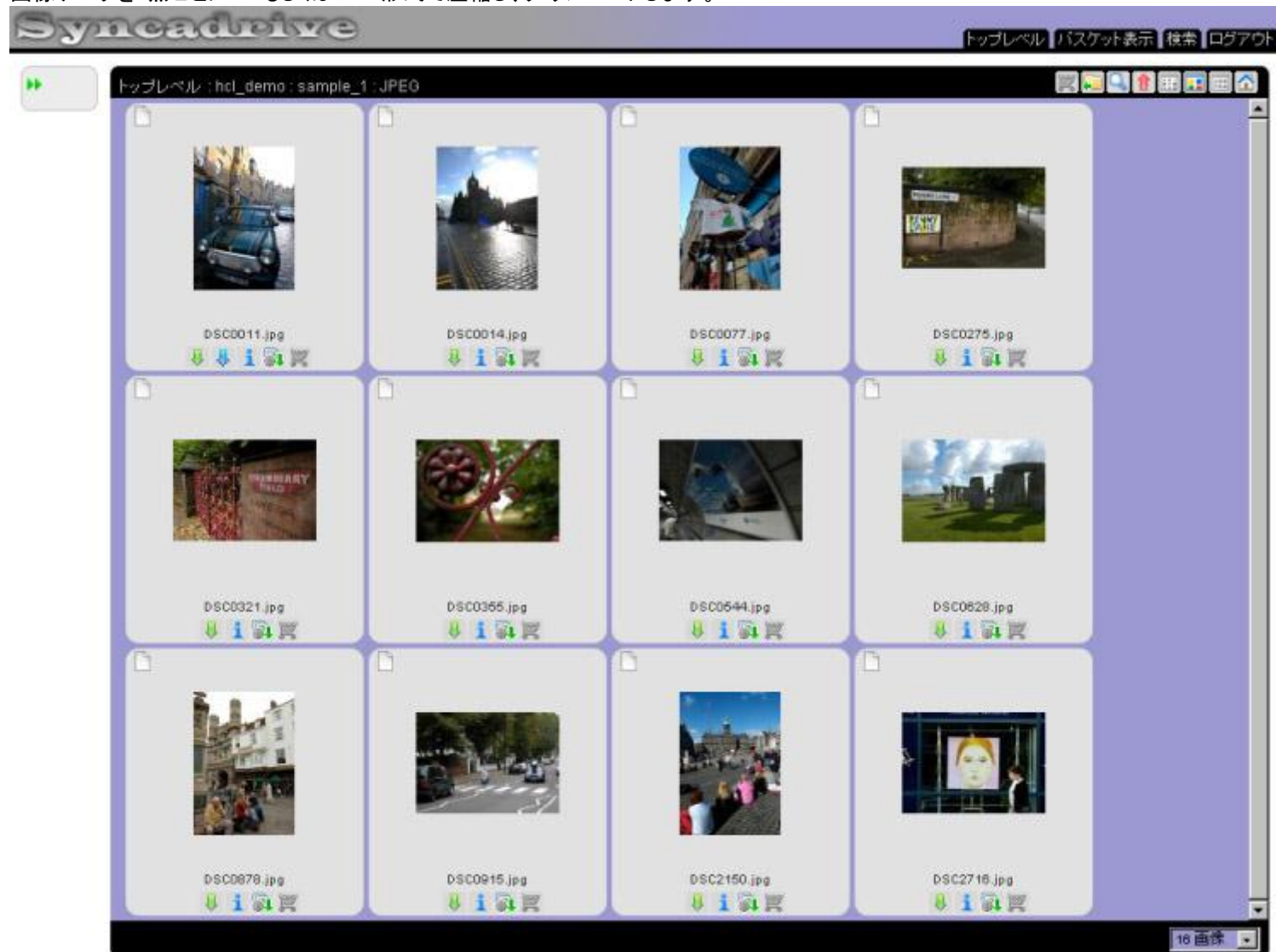
画像をバスケットに追加します。



## ◆ 個別画像データダウンロード

### 1. ダウンロード

画像データを1点ごとにZIPもしくはStuff形式で圧縮し、ダウンロードします。



## 2. 変換

画像ファイルを1点毎に変換してダウンロードします。変換可能な項目は画素数、解像度、ファイルフォーマット、カラースペースです。また、画面下の「切抜」ボタンにより、両像のトリミングも行えます。利用目的に応じてご変換ください。



The screenshot displays the Syncdrive image conversion tool interface. At the top, the 'Syncdrive' logo is visible on the left, and navigation links for 'トップレベル', 'バスケット表示', '検索', and 'ログアウト' are on the right. The main area features a preview of a car image on the left and a settings panel on the right. The settings panel includes a 'カラースペース' (Color Space) dropdown set to 'RGB', and buttons for '幅' (Width: 2024 pixels), '高さ' (Height: 2880 pixels), 'DPI' (300), and 'タイプ' (Type). Below this, there are input fields for width (2024 pixels) and height (2880 pixels), a unit selector set to 'Inches', a resolution dropdown set to '300 DPI', and an 'オリジナル%' (Original %) field set to '100'. A '縦横比保持' (Maintain Aspect Ratio) checkbox is checked. Further down, the 'フォーマット' (Format) dropdown is set to 'GIF' and the 'カラースペース' (Color Space) dropdown is set to 'RGB'. There are also two unchecked checkboxes: 'icc色修正可能' (ICC color correction possible) and 'アンシャープマスク可能' (Anti-aliasing possible). At the bottom of the interface, there are two buttons: 'ダウンロード' (Download) and '切抜' (Crop).

※カラースペースの変換については色再現を保障するものではありません。

## ◆一括画像データダウンロード

### 1.バスケットに追加&バスケットから削除

画像データを選択しバスケットに集め、一括ダウンロードを行います。1点ごとに追加選択する場合は、サムネイル下の「バスケットに追加」をクリックします。画面に表示されているすべての画像を追加選択する場合は、画面右上部の「バスケットに追加」ボタンをクリックします。選択された画像は画面右下に表示されます。選択を取り消す場合は、「バスケットから削除」ボタンをクリックすると、バスケットから削除されます。バスケットの中身を表示させる場合は画面右上の「バスケット表示」をクリックしてください。

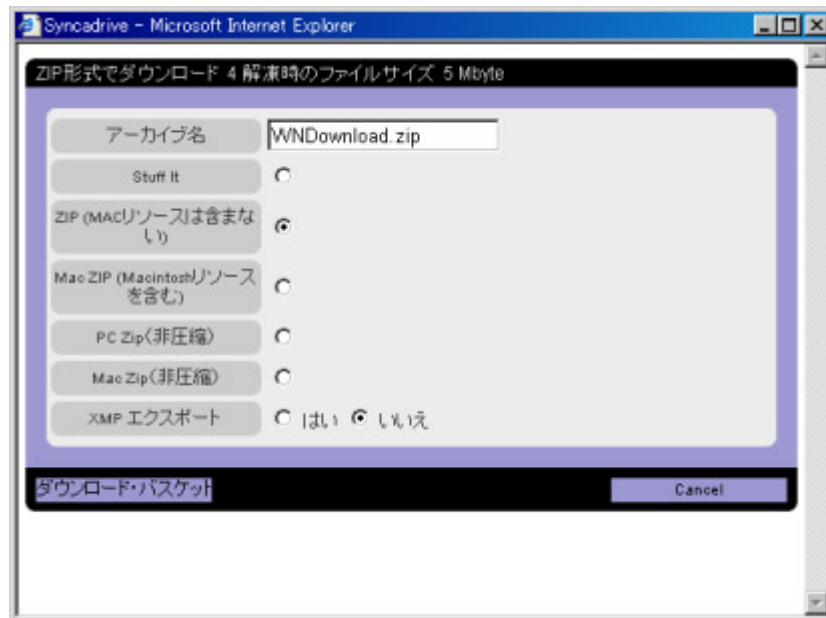
### 2.バスケット操作

ファイルを集めたバスケットには、次の操作が行えます(バスケット表示実行後)。



(1) BasketAdminister:バスケットの内容を保存します。選択作業の中断時や選択履歴を保存する際に使用します。

(2) Download Stuffit Archive of Files:カートに集められたファイルを一括で、ダウンロードします。ダウンロードファイルのファイル名と圧縮形式を指定し、「Download Basket」ボタンよりダウンロードします。



(3) Batch Image Order: カートに集められたファイルを一括変換しダウンロードします。設定項目は「変換」と同様ですが、画像のトリミングを行うことはできません。

